

## コンテスト

JJ1SXA 池

普段、CWでQSOする機会が少ないので、せめてコンテストだけでも一生懸命やろうと、50MHzCWにこだわり、JARL主催の、オールJA、全市全郡と6m&ダウン、フィールドデーもできれば参加、JARL東京都支部主催の東京コンテスト、東京CWコンテストあたりをメインに頑張っていますが、ここ数年は、頑張りが足りません。

一時期は、東京コンテスト50MHzCW都内の部で、数年間は連続1位と言う時期もありましたが、最近では、2位か3位と情けない。

昨年の成績は、オールJAは関東3位、全市全郡は全国3位(M部門は全国2位)、東京コンテスト第3位でした、東京コンテストの方は、今一不満足ですが、他は、まあまああの所かと思っています、6m&ダウン、フィールドデーは、参加することに意義ありの気持ちでの参加ですから、成績は二の次となるのは止むを得ません。(いずれも、50MHzCW・M部門での参加です)

しかし、コンテストの雰囲気は、何とも言えなく心地良いです、あの緊張感とその緊張感を粘り強く持続しなければいけないところが、没頭できるのです、コンテスト嫌いの人から見たら、あんな味も素っ気も無いQSOを何時間もやるなんて気が知れないといったことでしょうか、その人その人で考えも違うし、無線の楽しみ方は色々です、私とて、コンテストは大好きと言いながら、SSBで大声を張り上げ続ける人の気が知れませんが、自分では絶対にやる気にはなれません。

ご存知のとおり、コンテストのQSOは、ナンバーの送受信のみ、得点は、局数×マルチが基本です、いかに多くの局とQSOするか、いかに多くのマルチを獲得するかということです、50MHzはEスポが関係する程度ですが、HFのマルチバンドで全世界的なコンテストともなれば、時間帯のコンディションを考えて運用する必要があります。

50MHzCWの場合は、参加局数も限られており、例えばオールJAの時などは、21時のスタートで、最初の20分間くらいで30局、24時頃までに合計100局もやれば良いところ、翌日の午後になれば、CQを出し続けても、ひどい時は30分かかってようやく1局に呼ばれるかどうかという事があります、どうせ応答は無いだろうと、TVワッチをしながら、いい加減に聞きながらCQを出している状態のところへ、そんな時に限ってハイスピードで、しかも弱い信号の応答があって、あわててしまう事があります。

スタートして間もない時間帯ですと、1分間に3局くらいとQSOするのは当たり前ですが、その時の方が気分的には楽な気がします。

私の場合普段あまりQSOの機会が少ないので、CWを忘れないようにするためと、ボケ防止(笑)が、目的ですので、成績にはそれほどこだわっているわけではありませんが、自己満足のためにとりあえず、成績はどうだったかを見ています。